

APMAAA14th2018 カンファレンスに参加

2018年10月29日、長谷部代表は早稲田大学・国際会議場で開催されたアジアパシフィック管理会計学会（APMAA）の年次カンファレンスに参加した。当日はオープニングセレモニー、Doctoral Colloquium(博士課程大学院生向けのトレーニングディスカッション)12講及び Doctoral Seminar が開催された。参加国の博士課程の大学院生は、博士論文のベースとなるトピックについてプレゼンし、モデレーターと参加者と討議する。モデレーターからは、トピックの選定理由についての質問の他、タイトルとコンテンツの統一性の甘さや論文作法などの細やかな指導がされた。

“VALUE RELEVANCE OF COMPREHENSIVE INCOME AND ITS COTEXT”

では、タイの大学院生が純利益と包括利益の市場株価に対する影響度について、複数のモデルを用い説明した。

“Interactive Influence between Budgetary Control and Hoshin Kanri”では、日本の大学院生が、「方針管理」を導入しているホテルチェーンのケースを題材に説明し、会場では方針管理と BSC の特徴の違いなどについて議論がなされた。なお、全てのプログラムは英語でなされた。

